

開催地名：静岡県伊豆の国市	
開催日時	令和4年10月7日（金） 19：00～20：45
開催場所	あやめ会館
語り部	菊池 健一（宮城県仙台市）
参加者	自主防災組織、地域住民、市職員 93名
開催経緯	<p>当市では、自主防災組織に対して、公民館を避難所として開設した場合の対応をお願いしている。また、指定避難所等の運営においても、自主防災組織に協力してもらう可能性は十分に考えられる。しかしながら、昨年度県が実施した自主防災組織実態調査によると、「避難所運営について不安がある」と回答していた組織も多く存在するため、本講演にて自主防災組織における避難所運営の知識やノウハウを学ぶこととしたい。</p>
内容	<p>（1）震災被害の背景</p> <p>東北地方は非常に地震が多い地域であり、特に宮城県など太平洋沿岸地域については、過去に幾度となく地震や津波の被害を受けてきた。1896年（明治29年）にマグニチュード8.5の明治三陸地震、1933年（昭和8年）にマグニチュード8.1の昭和三陸地震、1978年（昭和53年）に宮城県沖地震、2003年（平成15年）に宮城北部連続地震、2005年（平成17年）に宮城県沖地震を記録している。1978年の宮城県沖地震では、死者28人（ブロック塀などの下敷き18人）、負傷者1,325人、建物の全半壊7,400戸、停電70万戸、断水7,000戸という多大な被害が生じた。特徴の1つとして、ブロック塀倒壊の多発が挙げられ、このブロック塀の倒壊によって18人の子供が犠牲となった。この地震は、当時の人口50万人以上の都市が初めて経験した都市型地震の典型と言われた。</p> <p>この地震を契機に、宮城県では自主防災組織を各町内会に設置する動きが起り、1995年の阪神・淡路大震災以後、この動きは加速した。しかし、2011年に起こった東日本大震災で、この自主防災組織が県内すべてで機能していたわけではない。その時仙台市内ではどんな問題が起き、住民はどう対応したのか。これからお話ししたい。</p> <p>（2）東日本大震災時の状況について</p> <p>地震発生時、私の自宅がある七郷地域は震度7の烈震で、4～5分ほどすごい揺れが続いた。仙台市では11.5メートルの津波の被害を受けた。海面が11.5メートル高くなった状態で海水が押し寄せ、海岸から3キロ以上内陸まで浸水した。県警ヘリの避難指示を聞き、3つの町内会を走り、周辺住民に声をかけてまわった。しかし1人暮らしの老人の中には避難を嫌がり、自宅のカギや通帳・印鑑を探させる人がいた。この時は、人命が大事だと言って半ば強引に避難させた。ライフラインが止まってしまうと、高齢者が1人で暮らすのは難しくなるからだ。この処置が正しかったかどうかはわからないが、災害時こそ二次災害を防ぐための迅速な判断が必要だ。被災者の中には油断して避難しなかった人や、「津波がまだ来ないから玄関のカギをかけてくる」と言って戻ってしまった人なども多かった。</p>

(3) 避難所の状況と、避難生活から得た教訓

私は指定避難所である近隣の小学校に避難した。避難所では、人数の把握をはじめとする必要な業務に対応するべく、避難所の運営組織を立ち上げる必要があった。そこで、各町内会長と学校長に相談の上で急遽組織をつくり、私も防災アドバイザーの立場で支援を行った。その時注意したのは、あくまでもコミュニティを中心とし、町内会長をメインとした組織にすることだった。そうすることで、同じ地区の住民が周りにかたまるようになり、人員の掌握や情報の集約と伝達が迅速になることが期待された。また、自宅で寝起きできる人たちには、数日分の食糧を提供の上で自宅に戻ってもらい、避難所に滞在する住民の数を収容能力に見合う数に限定していった。

長い避難生活を考え、町内会の主要な役員を核とした組織編成を行ったが、組織に対する不満、顔見知り同士の派閥、プライバシーのない集団生活でのストレス、ペット問題、ボランティア団体の過度な訪問など、避難所生活では対処すべき課題が絶えなかった。原因の1つとして、津波避難と防災訓練は行ってきたが、「避難所運営訓練」を全く行っていなかったことがあげられる。今後の防災対策では、避難所へ移動して終わる避難訓練だけではなく、その後を想定した避難所運営訓練を多く行うことと、自主防災組織や避難所運営組織には女性を積極的に登用することが必要である。そして、顔の見える隣組とのさらなる関係づくりが、生き延びるために極めて重要であると感じた。



開催地より

東日本大震災時の実体験に基づく避難所運営についてのお話しを、写真やスライドを使ってわかりやすくご説明いただいた。当市では今日の講演をふまえ、今後の避難所運営訓練などの実践的な訓練の促進や、関係機関、関係部署、各地区との連携体制づくりを進めていきたいと思う。